

更生保護施設の取組

更生保護法人全国更生保護法人連盟

事務局長 鈴木 庄市

更生保護施設とは

更生保護施設の役割

- 刑事施設から釈放された人や保護観察中の人などで、身寄りがない、現在住んでいるところでは更生が妨げられる等の理由で、直ちに自立することが困難な人に対して、一定期間、宿泊場所や食事を提供する民間の施設
- 刑事施設を釈放された人の約 2 割が一時的に帰住している
- 宿泊場所や食事の提供を行うだけでなく、保護している期間に生活指導や職業補導、その他特性に応じた処遇などを行い、自立を援助することで、その再犯・再非行の防止に貢献

24時間365日体制で、入所者の特性に応じたきめ細かな処遇を実施

更生保護施設の設備及び処遇の内容等

更生保護施設の設備等



外観



居室



食堂



浴室



洗濯場

更生保護施設での活動

処遇・支援の様子



薬物依存からの回復に向けたグループミーティングの様子



コミュニケーション能力の向上に取り組むワークの様子



訪問支援の様子

地域に開かれた更生保護施設



地域の方々による料理教室の様子

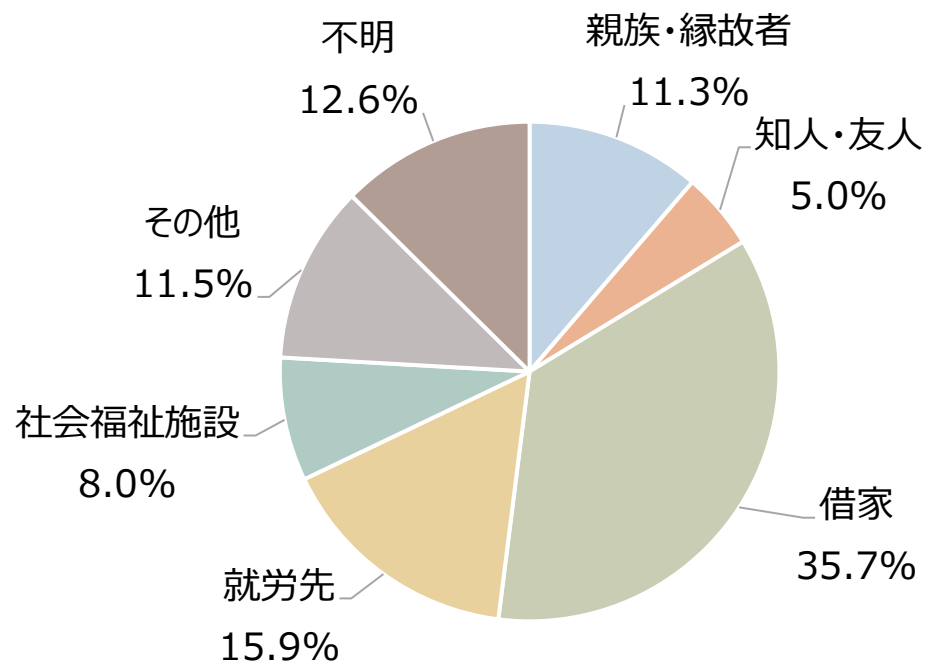
地域の方々との交流会の様子



更生保護施設退所後の住まいの確保

- 更生保護施設での在所（入所）期間は、平均約86日
- この間に、施設退所後の住まいや就労先、利用する福祉サービス等を確保し、退所の日を迎えられるよう必要な調整・支援を実施している。

更生保護施設からの退所先（R6年度）



(退所人員 4,788人)

更生保護施設退所後の住まいの確保

ケース1 社会福祉施設との連携

- ◆ 刑務所から仮釈放となり更生保護施設に帰住したが、心身の不調のため、就労よりも治療を優先することとし、精神科への通院を継続
- ◆ 退所後の障害福祉サービスの利用に向けて、更生保護施設の福祉スタッフが中心となり、関係機関・団体等とのケア会議を開催するなど、必要な調整を実施
- ◆ 施設在所期間中に、グループホームの調整ができたため、期間満了と同時に更生保護施設を退所し、グループホームでの生活に移行
- ◆ 現在は、生活保護を受給しながらグループホームで落ち着いた生活を送っている

更生保護施設退所後の住まいの確保

ケース2 居住支援法人との連携

- ◆ 更生保護施設入所中から居住支援法人の支援を受けて、不動産会社への同行をはじめとした支援を実施
- ◆ 決まりかけていた賃貸住宅への入居が流れてしまったが、居住支援法人のスタッフが寄り添い、粘り強く支援したことで、本人の心情が安定し、その後、別の賃貸住宅への入居が決定
- ◆ 更生保護施設が並行して、協力雇用主と共に就労支援を行い、社会福祉法人の職員として就労が決定
- ◆ 本人は更生保護施設退所後、賃貸住宅に転居予定であり、退所後も時々顔を出したいと施設職員に話している

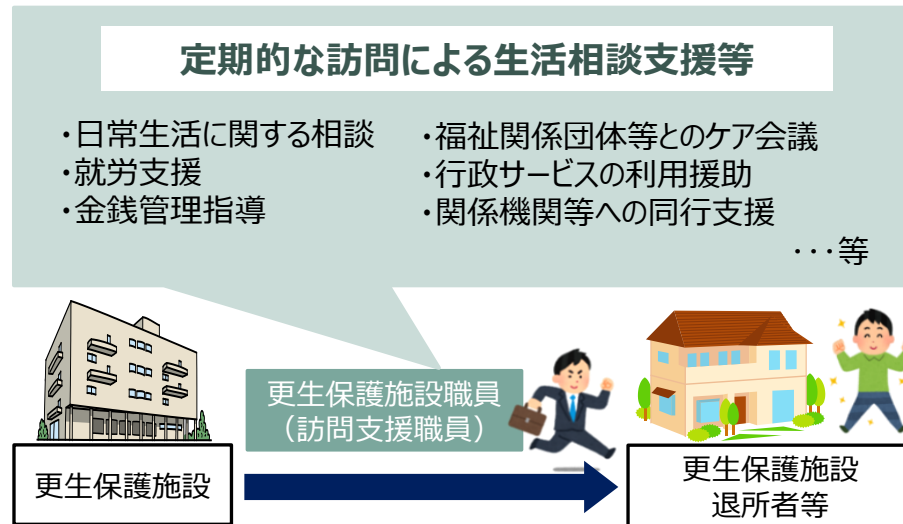
更生保護施設退所後の“息の長い支援”

フォローアップ事業

- 平成29年度～
- 更生保護施設退所者が、在所していた更生保護施設に通所し、必要な生活相談などを行う

訪問支援事業

- 令和3年10月～
- 従来の通所型ではなく、更生保護施設退所者等の自宅などを更生保護施設職員（訪問支援の専門スタッフ）が訪問し、必要な生活相談などのほか、関係機関等とのケア会議や同行支援も行う



更生保護施設退所後の“息の長い支援”

ケース 単身生活への円滑な移行に向けた支援

- ◆ 施設退所後、生活保護を受けながら福祉施設で生活
- ◆ 円滑に単身生活に移行するため、訪問支援を開始
- ◆ 必要な支援・福祉サービスが受けられるよう、医療機関や福祉関係機関等への同行支援を実施
- ◆ 福祉団体と今後の支援体制についてのケア会議を実施するなどして、訪問支援終了後の地域の支援体制を構築

「誰一人取り残さない社会」に向けて

- ◆ 更生保護施設は、社会復帰のきっかけとなる一時的な場所であり、入所当初から退所後の住居の確保、自立を目指して支援している
- ◆ 更生保護施設から民間賃貸住宅への転居はハードルが高く、ゆるやかな支援や息の長い見守りがある「居場所」の確保が重要である
- ◆ 住み込み就労先、自立準備ホーム等、本人の特性や状況にあった「居場所」を調整し、施設退所後の社会復帰を促進している